



北村 あや子 区政ニュース

来年度予算要望(緊急・重点要望31項目含む511項目)提出

10月25日、区に2023年度予算要望を提出しました。

長引く新型コロナウイルス感染拡大、物価・エネルギー高騰など区民の営業と暮らしは深刻な打撃を受け、区の支援が切実に求められています。これまでの支援策は、国や都の支援だけできわめて不十分でした。そのため予算要望では、特に緊急・重点要望31項目を上げて対応を求めました。以下はその内容です。ご意見、ご要望などお寄せください。

来年度予算編成にあたっての緊急・重点要望

1、新型コロナウイルス感染拡大・物価高騰などから区民の命と暮らしを守る

- ①保健所の強化のため、保健師など増員を行い定員化すること。
- ②PCRなどの検査体制を継続し、強化すること。
- ③区内業者の事業継続を最大限支援するため、入口となる相談体制を強化すること。
- ④ゼロゼロ融資などによる過剰債務の削減のため、地域金融機関などと共同した中小事業者の支援、再生に向けた取り組みを行うこと。
- ⑤国に対して小規模事業者も対象にした「事業再生給付金」の支給を求めるとともに区独自の支援金給付を実施すること。
- ⑥生活保護申請受付で扶養照会を行わないこと。また、「生活保護は国民の権利」をお知らせするポスター掲示など広報を強化すること。
- ⑦物価・エネルギー高騰、運賃などの値上げによって、福祉タクシー券はじめ区民サービス低下にならないよう対策を講じること。
- ⑧医療機関・患者双方に負担を強いるマイナンバーカードと保険証の一体化の強制は止めることを強く求めること。

2、子育てと子どもへの支援

- ①就学援助基準を当面、生活保護基準の1.5倍まで対象を拡大すること。
- ②区独自で小中学校の給食完全無償化を実施すること。
- ③区立幼稚園廃園計画は見直すこと。
- ④児童手当特例給付が打ち切られた世帯に区独自の給付を行うこと。

3、高齢者、障害者への支援

- ①補聴器購入助成は、所得制限を見直し、助成額を実態に見合う額に引き上げること。
- ②第9期高齢者プラン策定で、介護保険料の据置き・値下げとともに、介護保険料の減額免除制度の拡充をおこなうこと。

③特別養護老人ホームなど介護施設の増設、高齢者のための住宅確保をすすめること。

④障害者グループホームを区の責任で増設すること。

4、ジェンダー平等の推進

- ①同性パートナーシップ制度の周知とファミリーシップ導入など拡充すること。
- ②「痴漢」「盗撮」など性犯罪をなくすための取り組みをすすめること。
- ③小学校をはじめ公共施設の個室トイレに生理用品を常備すること。

5、若い世代への支援

- ①区の奨学資金貸付制度を大学等の受験にも適用できるように制度を拡充するとともに、②区としての給付金奨学金と奨学金返済支援を検討すること。
- ③「街中保健室」「ユースクリニック」を医療機関、薬局などと提携して開設すること。

6、気候変動対策についての推進

- ①2050ゼロエミッションに向け2030年までの積極的な温室効果ガス削減目標を設定すること。
- ②公共施設、公共事業など区の業務の全分野でどれだけ温室ガスを削減できるかなど、脱炭素化に向けた「目標と計画」を策定すること。
- ③プラスチック類削減の取り組みを前提に、区の廃プラ回収モデル事業の全域に拡大すること。

7、まちづくりについて

- ①貴重な区有地を種地にした西日暮里駅前再開発、三河島駅前北地区再開発は、今からでも区民の声を聴いて見直すこと。
- ②高齢者、ひとり親世帯、若者向けの家賃助成制度を創設すること。
- ③感震ブレーカー、家具転倒落下防止金具設置の100%設置実現へ区の補助制度を抜本的に拡充すること。
- ④命守るための簡易耐震・簡易不燃化工事への補助制度を創設すること。
- ⑤移動の自由保障をまちづくりの基本に据え、コミュニティバスなど地域公共交通のため必要な財源を投入すること。町屋さくらを復活すること。
- ⑥町屋、尾久、日暮里など全区的な交通不便地域の実態調査を行い、区として地域公共交通政策を策定すること。



発行:日本共産党議員団 TEL:3802-4627 FAX:3806-9246

e-mail:arajcp@tcn-catv.ne.jp

<北村あや子事務所> 荒川区西尾久2-4-8-1階

TEL&FAX:3894-6668



荒川区役所 本庁舎建替えの検討が始まる

荒川区役所本庁舎は1968年竣工、今年54年目となりました。2019年頃から自民党公明党から「建替え検討」の質問が出てきました。荒川区はこれを受けて「関係課長等から成る検討委員会」を立ち上げました。

来年度には方向性の具体化

今年、9月本会議や決算特別委員会でも質疑が行われました。給排水空調の大規模改修が必要・バリアフリーでの課題・機能の分散・会議室の不足・災害時の拠点機能・DXへの対応など多く課題があり、来年度には「新庁舎の規模・建設場所・財源」など一定の方向性を示すとしています。

一時移転して、現在の場所(本庁舎延床面積16770㎡)に建設するのか。北庁舎なども統合するとしたら区役所公園はどうなるの? 駅前などに土地を求めて新庁舎建設? そんな土地はあるの?

また、来年度から庁舎建設のために基金積立も開始すると答弁しました。

必要経費は200億円?

経費は200億円と推計し、その50%は基金/積立貯金(100億円)25%は起債/借金(50億円)残りは一般財源(50億円)でまかなうとしています。



本庁舎と荒川公園のバラ

今後、学校や特別養護老人ホームの建替えなどもあり、基金は貯め続ける必要があると区も自民公明与党も主張しています。基金を増やすために区民の暮らしに必要な施策が削られたり、後回しになったりしているのか、区政の基本姿勢も問われると思います。みなさんのご意見をお寄せください。

本庁舎修繕・改修これまでの経緯

耐用年数は65年、長寿命化補強で80年

- 2010年3月～2011年9月耐震改修工事 (15億4140万円)
- 2014年度 外壁外部建具その他防水改修工事、駐車場排水設備改修工事、庁議室冷暖房機改修工事
- 2015年度 屋上防水改修工事、本庁舎敷地及び外構改修工事、防犯カメラ設置工事
- 2016年度 正面玄関前広場手すり等改修工事
- 2018年度 本庁舎救助袋式避難設備交換工事
- 2019年度 防火シャッター撤去新設工事
- 2020年度 ブロック塀改修工事、非常用発電設備設置工事・飛散防止フィルムを未設置のガラスに設置
- 2021年度 1階バルコニー改修工事
- 2022年度 1階バルコニー改修工事、昇降機設備

区民限定! あらかわ遊園年間入園券・年パス販売スタート



リニューアル前に比べ入園料が4倍になったあらかわ遊園(大人800円、65歳以上400円、中学生400円、小学生200円、未就学児は無料。1日フリーパスもあります)。「気軽に行けなくなった」と地域の方からたくさんのご意見をいただいていた。委員会や本会議で区民料金の設定、子どもは無料に…と求め、ようやく10月24日から区民限定の年間入園券と年間パスポートが販売ス

タート! 10月30日までに130件売れたそうです。

販売詳細はホームページをご

確認ください。11月は予約なしで入場できます。

【問合せ】あらかわ遊園 電話番号:03-3893-6003

	年間入園券	年間パスポート
大人	3000円	7000円
シニア(65歳以上の方)	1500円	5500円
中学生		3500円
小学生	500円	2500円
3歳以上の未就学児	—	1500円

都営住宅申込書配布 11月1日～11月10日

区役所や区民事務所などで配布しています。

締切は11月16日まで。お気軽にお尋ねください。

日時: 11月18日(金) 18:30～20:00

TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

会場: 北村あや子事務所 (西尾久2-4-8)

日々の生活、仕事…ひとりで悩まずご相談ください。

弁護士と北村がお話をうかがいます。生活相談はいつでもどうぞ。

